

大崎、オムロンが全勝守る

～第32回日本ハンドボールリーグ第5週～

第32回日本ハンドボールリーグ第5週は10月27、28日に新潟などで男子4試合、女子6試合が行われ、男子では大崎電気が湧永製薬戦に39-27と快勝、広島メイプルレッズ、北国銀行の挑戦をはねつけた女子・オムロンとともに全勝で首位を守った。

男子注目のカードとなった広島での湧永-大崎戦は、ここまで4連勝の大崎が永島のポストで先制したあとも、猪妻の速攻やサイドで主導権を握り、GK濱口の好守をからめて優勢に試合を進めた。一方の湧永も東長濱、ルーキー新、下川らで必死に追撃したが、大崎の手堅いDFを攻めあぐね、大崎が前半19-12とリード。後半に入っても試合の流れは変わらず、大崎は正確なパス回しから手堅くシュートを決め、焦りの目立つ湧永の乱れに乗じてさらに加速、大量12点差をつけて勝利を飾った。

長野でのトヨタ車体-大同特殊鋼戦は、立ち上がり野村の連打などの4-1と好スタートを切った車体に対し、大同もDFを立て直して徐々にリズムに乗り、12分過ぎには岸川のサイドで同点に追いついた。このあと大同は退場者が続いたものの気迫の守りでピンチをしのぎ、逆に富田の好打などで20分14-10と4点リード。これで勢いづいた大同は20-13と7点差をつけてUターン。後半出だしにも退場者2人を出した車体から連続得点を奪った大同が6分26-17とさらにリードを広げ、その後も高いDFからの速攻で効果的に加点、19分35-22として試合を決定づけた。

女子のオムロン-広島戦は、オムロンが坂元、洪らの活躍で13分8-3と先行すれば、広島も金のスカイプレーや植垣のカットインなどで19分9-9と並んだ。その後は両チームの活発な打ち合いで白熱した展開となり、16-15と先行して折り返した広島は、後半出だしにも大前、土屋の速攻などで加点、5分21-15と6点リードを奪った。しかし、ここからオムロンも反撃に転じ、通算200得点となった水野のゴールを足がかりに7分過ぎのパワープレーチャンスを活かして点差を縮め、14分高田の速攻で24-24の同点に追いついた。その後はオムロン・坂元のカットイン、広島・植垣のミドルなどで一進一退の攻防が続き、残り1分を切って35-34と先行したオムロンが、洪のカットインで粘る広島を突き放した。

続く北国戦。オムロンは佐久川のサイドを皮切りに、洪の的確な配球からポスト、サイドで得点を重ね、8分7-2と好ダッシュ。北国はロングの決定力を欠いて苦戦を強いられ、横嶋のポスト、宮前のサイドなど反撃したものの、坂元のポストなどでリードを保ったオムロンが21-16で前半を終えた。後半北国はGK田代の7mTシャットアウトや、5分過ぎに野路の速攻をマークしたオムロン・洪の負傷退場などで逆転チャンスがふくらみかけたが、オムロンは攻めては安心院、守っては巻がしっかりと洪の代役を務め、決め手を欠く北国にさらに点差をつけて逃げ切った。

オムロンに敗れた北国は、前日の三重バイオレットアイリス戦は前半7得点をマークした上町の活躍などで20-10と大量リードでUターン。後半も3本の7mTを阻んだGK木澤の好守が光り、15分過ぎには上町が通算200得点を達成するなど会心の試合運びで31-23と快勝した。三重は伊藤らの奮戦で後半は13-11と意地を見せたが、前半の大量失点が最後まで響いた。また、28日の広島-名古屋戦は、5本の7mTを含む12得点とゴールを量産した植垣の活躍などで広島が33-15と今リーグ初勝利をあげた。

(2ページに続く)



ホーム初戦で200得点を達成、北国の勝利に貢献した上町

第6週の日程

- | | |
|---|---------------------------------|
| 11月3日(土)・埼玉・三郷市総合体育館(JR武蔵野線三郷駅下車バス(金町行き)「総合体育館前」下車) | 14:00～(男)大崎電気×トヨタ車体 |
| ・福井・北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道(勝山行)「観音町」下車徒歩5分) | 14:00～(男)北陸電力×湧永製薬 |
| ・愛知・三好公園総合体育館(名鉄豊田線赤池駅バス20分) | 13:00～(女)HC名古屋×北国銀行 |
| ・三重・三重県鈴鹿スポーツガーデン体育館(近鉄名古屋線白子駅20分) | 15:00～(男)トヨタ自動車×大同特殊鋼 |
| ・鹿児島・霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分) | 13:00～(男)Honda×豊田合成 |
| | 15:00～(女)三重バイオレットアイリス×オムロン |
| | 14:00～(女)ソニーセミコンダクタ九州×広島メイプルレッズ |

トヨタ紡織、ソニーが首位を追走

開幕から1勝1敗と無難なスタートを切ったが、その戦いぶりははらからぬ内容が続いていた女子・ソニーセミコンダクタ九州は、10月27、28日と連戦。石川でのHC名古屋戦を前半から押しまくり、46-18で圧勝すると、翌28日、福井では三重バイオレットアイリスをなかなか突き放せず、最後まで苦しんだものの、集中力は途切れず、28-25と3点差でのいだ。これで通算3勝1敗としたソニーは、開幕からの4連勝で首位を走るオムロンへの追撃態勢を整えた。また、この試合の後半29分44秒、ソニー・郭惠静が通算500得点となるメモリアルゴールでチームの勝利を決定づけた。

男子では、前週にトヨタ自動車、豊田合成に順当勝ちして調子を上げてきたトヨタ紡織九州が、28日三重でHondaと対戦。柳本、横地らを軸とするHondaの粘りに苦しみ、後半10分過ぎまでは一進一退の展開を強いられた。相手ペースへと持ち込まれかねない緊張感の中、藤山、阪らで11分過ぎからの4連打、そして20分過ぎからの7連打と試合を決める連続得点を繰り出した紡織が32-25で快勝、進撃を続ける大崎電気をビタリとマークしている。

また前週、トヨタ車体から白星をもちとった北陸電力も、地元の福井で神田、桜井ら主力選手を中心に豊田合成の若さと勢いを巧みにかわして2連勝。今後、上位陣にもいっその警戒が必要な存在となってきた。

次週第6週は、11月3日、埼玉、福井、愛知、三重、鹿児島で男子4試合、女子3試合が組まれている。埼玉での大崎-車体、鹿児島でのソニー-広島メイプルレッズ戦など男女とも見逃せないカードが続く。

◆10月27日(土) 女子 新潟・上越市柿崎総合体育館

オムロン	36	(15-16)	34	広島メイプル レッズ	0勝1分2敗
3勝0分0敗		(21-18)			
<0/5>	K	勝田	高森	K	<0/4>
5/7	水野	土屋	5/6		
0/2	安心院	樹山	1/1		
1/1	巻	青戸	3/4		
0/0	西本	大前	5/5		
4/4	0/0	吉田	植垣	5/14	5/5
	10/14	坂元	坪井	0/0	
	0/0	久野	伊藤	0/1	
	6/13	洪廷昊	坂口	1/5	
	K	藤間	亟々	K	
0/0	城内	安齋	2/2		
4/5	高田	石山	0/0		
5/11	東濱	金鎖順	7/12		
1/3	藤井	江頭	K		

4/4 32/56 11(FPP)16 29/50 5/5
審判(多田・中館) 観客 275人

◆10月27日(土) 女子 石川・小松総合体育館

ソニーセミコンダクタ九州	46	(22-10)	18	HC名古屋	0勝0分3敗
2勝0分1敗		(24-8)			
2/2	K	中島	近藤	K	<0/1>
9/12	郭惠静	佐藤	1/6		
3/7	長野	宮田	4/5		
3/3	2/2	山田	菅谷奈	6/13	1/2
	5/5	田中	羽出重	2/5	
	3/3	石崎	高橋知	1/1	
	3/3	工藤	本澤	1/11	0/1
	2/3	亀山	高橋玲	1/3	
	7/9	高栖	家城	K	<0/6>
	0/0	出雲	秋山	1/1	
<2/3>	K	飛田	徳永	K	
2/4	寺田				
2/2	0/1	東			
3/5	川口				

7/7 39/54 7(FPP)15 17/45 1/3
審判(浜田・小笠原) 観客 521人

◆10月27日(土) 女子 石川・小松総合体育館

北国銀行	31	(20-10)	23	三重バイオレットアイリス	1勝1分1敗
2勝0分1敗		(11-13)			
<3/4>	K	木澤	横川	0/0	
4/4	内平	桂	1/2	1/1	
3/3	7/9	上町	石黒	0/1	
	1/1	宮前	宮下	3/5	
	0/0	佐久川	菊池	0/0	
	1/2	新田	谷口	0/1	
	1/4	小野澤	北村	0/0	
	3/6	横嶋	伏見	2/3	2/4
	3/8	野路良	橋本寛	5/5	0/1
	5/9	武井	毛利	K	<1/2>
<0/2>	K	田代	星野	2/5	
1/2	1/1	仲宗根	小川	0/2	
0/0	井上	伊藤	藤	7/12	
1/1	若松	森田	K	<0/3>	

4/5 27/45 14(FPP)7 20/36 3/6
審判(福田・冨田) 観客 862人

◆10月28日(日) 男子 長野・千曲市戸倉体育館

大同特殊鋼	41	(20-13)	31	トヨタ車体	3勝0分3敗
4勝0分1敗		(21-18)			
<0/1>	K	荻田	木下	K	
0/0	松林	佐々木	0/0		
2/2	6/10	末松	高智	5/6	
1/1	0/0	浦田	野村	7/13	
	3/3	富田	藤田	0/1	
	2/7	武田	竹下	1/2	
1/1	6/8	岸川	北出	0/0	
1/1	8/11	大田	小沢	0/0	
<0/1>	K	高木	長谷川	1/2	
	4/6	李才佑	鶴谷	2/6	
<0/4>	K	東	谷井	K	<0/5>
0/0	山本	香川	5/8	6/6	
3/7	白元喆	崎前	0/0		
4/5	渡久川	門山	4/7		

5/5 36/57 11(FPP)15 25/45 6/6
審判(多田・中館) 観客 803人

Team Topics

トヨタ紡織九州 Red Tornado



活躍するOBたち

チームをサポートするOBたちを紹介します。

【結成4年目の応援団、3代目団長・高山昇太】(写真②)

3月までレッドトルネードの選手だった高山さん。現役時代は宴会部長としてチームを盛り上げ、引退後も、チームがプレーオフ出場、優勝できるようにと、今リーグから応援団長になりました。

チームそして会場を盛り上げようと毎試合喉がかわるまで他のチームの応援団に負けないうらい大声援を送ってくれます。応援団の目標もチームと同じプレーオフ出場、そして優勝!! チームと応援団が一致団結してこれからもリーグを戦っていきたく思います。



トヨタ紡織九州のホームゲー

【MCに匹敵する解説者・田中慎一】(写真①)

佐賀大会のMC補助を毎試合担当している田中さん。田中さんは、アラコ九州時代からプレー、第30回日本リーグを最後に引退。現在は、佐賀大会のMC補助を毎試合担当しています。

試合ではMCとの息もピッタリで、選手時代の経験を生かし、的をえた解説がハンドボールをしている人、していない人に関わらず、わかりやすいと評判です。時には厳しい言葉も出てきますが、それは一緒にプレーしていた仲間達に頑張ってもらいたいと願っているからこそ。MCと田中さんのやり取りを聞きながら試合を観戦するとハンドボールが何倍も楽しくなりますよ。

その他、材木圭二さん、大坪誠さん多くのOBたちが佐賀大会の運営役員として活躍しています。このようにチームを支えているたくさんの人への感謝の気持ちを忘れず、一戦一戦を戦っていき、プレーオフ出場、リーグ制覇で皆さんに恩返ししたいと考えています。

<p>◆10月28日(日) 女子 富山・富山県西部体育センター</p> <p>広島メイプルレッズ 33 (17-8) 15 HC名古屋 1勝1分2敗 0勝0分4敗</p> <p><2/2> K 高森 近藤 K <2/6> 5/7 土屋 佐藤 3/10 1/1 樹山 宮田 3/4 0/0 青戸 菅谷 4/10 0/1 3/5 大前 羽出 0/4 5/7 7/11 植垣 高橋 0/1 3/5 坪井 本澤 3/9 0/1 2/2 伊藤 高橋 0/0 0/1 坂口 家城 K <0/1> K 坂々 秋山 2/4 1/3 安齋 水野 0/1 0/0 石山 菅谷 0/0 6/7 金鎮順 徳永 K K 江頭</p> <p>5/7 28/42 7(FPP)6 15/43 0/2 審判(福田・富田) 観客 416人</p>	<p>◆10月28日(日) 女子 石川・小松総合体育館</p> <p>オムロン 35 (21-16) 27 北国銀行 4勝0分0敗 2勝0分2敗</p> <p><2/8> K 勝田 木澤 K <0/4> 3/3 水野 内平 3/3 2/2 安心院 上町 3/9 6/8 0/0 巻 宮前 3/3 0/0 西本 佐久川 0/2 6/7 1/2 吉田 新田 1/2 4/4 佐久川 小野澤 0/2 7/11 坂元 横嶋 4/6 2/2 洪廷昊 野路良 4/11 K 藤間 武井 0/10 0/0 城内 田代 K <2/5> 0/0 高田 仲宗根 0/1 2/11 東濱 井上 0/0 1/2 7/8 藤井 若松 3/3</p> <p>7/9 28/43 13(FPP)11 21/52 6/8 審判(浜田・小笠原) 観客 628人</p>	<p>◆10月28日(日) 女子 福井・北陸電力福井体育館フレア</p> <p>ソニセミコンダクタ九州 28 (16-13) 25 三重ハイトレットアイリス 3勝0分1敗 1勝1分2敗</p> <p><0/5> K 中島 横川 0/0 7/9 郭惠静 桂 5/5 0/2 3/10 長野 石黒 1/1 1/1 1/7 山田 宮下 1/7 5/10 田中 菊池 0/0 0/0 石崎 谷口 0/0 0/1 工藤 北村 1/1 2/3 亀山 伏見 1/5 7/7 3/4 高栖 橋本 2/3 1/1 出雲 毛利 K <0/2> <2/4> K 飛田 星野 0/1 2/3 寺田 小川 0/0 2/3 0/0 東伊藤 7/11 1/2 和田 森田 K <1/2></p> <p>3/4 25/50 9(FPP)6 18/34 7/9 審判(増田・藤坂) 観客 350人</p>
<p>◆10月28日(日) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア</p> <p>北陸電力 29 (11-12) 27 豊田合成 2勝0分4敗 0勝0分6敗</p> <p><2/3> K 西田 大立 K <0/1> 3/4 高橋 飛田 0/0 9/16 神田 黒木 0/0 2/2 落合 桶谷 2/5 1/1 5/7 桜井 門野 0/0 2/4 前田 糸田 1/1 3/4 高田 大植 1/1 0/1 2/4 杉山 渡久山 4/7 1/2 0/0 北村 中村 4/5 0/0 大谷 椿原 6/11 0/0 表 藏元 0/0 2/6 山原 河島 0/0 0/0 亀田 畠中 2/6 K 有江 佐藤 6/8</p> <p>1/1 28/47 11(FPP)18 26/44 1/3 審判(坪井・河合) 観客 350人</p>	<p>◆10月28日(日) 男子 三重・三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館</p> <p>トヨタ紡織九州 32 (13-12) 25 Honda 4勝1分1敗 2勝0分3敗</p> <p><1/3> K 松野 中谷 1/1 7/15 中畠 鶴見 1/4 0/0 植木 柳本 4/5 0/1 2/4 村上秀 河瀬 1/1 0/1 3/10 呉相民 竹田 3/7 3/5 佐久間 横地 7/15 0/0 鶴田 伊藤 0/0 1/1 海道 青谷 山口 0/0 5/5 阪 吉村 K <1/1> <0/2> K 谷川 吉嶋 2/5 3/3 4/4 鈴木 野井 K 5/6 藤山 吉方 K 1/1 船木 1/1 泉原</p> <p>0/1 32/52 6(FPP)6 21/45 4/5 審判(佐路・佐藤) 観客 360人</p>	<p>◆10月28日(日) 男子 広島・東区スポーツセンター</p> <p>大崎電気 39 (19-12) 27 湧永製薬 5勝0分0敗 3勝1分1敗</p> <p>K 浦和 志水 K <0/1> 2/2 4/5 豊田 下川 5/9 2/3 前田 山中 3/9 6/6 中川 福田 0/0 0/0 佐藤 東 3/12 1/2 2/3 永島 坪根 K <0/2> 4/7 岩本 新 1/6 5/6 太田 武藤 3/3 <1/3> K 濱口 今井 0/0 1/4 岩永 松村 K 1/1 東古家 1/6 1/1 7/11 猪妻 渡辺 0/1 3/4 望月 山口 1/4 1/5 宮崎 東長濱 8/14 1/1</p> <p>3/3 36/55 7(FPP)14 25/64 2/3 審判(池淵・檜崎) 観客 797人</p>

Team Topics

広島メイプルレッズ HIROSHIMA MAPLEREDS



メイプルレッズの意気込み

リーグ優勝から遠ざかって2年、昨シーズンのメンバーに植垣、新城の有力新人2人を加え、今年こそ女王の座奪還の意気込みを持って臨んだ広島メイプルレッズでしたが、主力選手の故障による戦線離脱など予期せぬアクシデントに見舞われ、初戦の北国銀行に逆転負けを喫し、続く三重バ

イオレットアイリスにも引き分けるなど最悪のスタートとなりました。

行政、企業、町内会、個人サポーターなどに支えられた広島メイプルレッズは、かつての“スポーツ王国広島”復活のスローガンのもと、ワクナガレオリックと共に県民に元気を提供する義務があります。

メイプルレッズのジュニアチームも発足し、選手たちの献身的な指導により大会にも出場できるようになり地域に密着した活動も陽の目を見つつあります。

あとは核となるメイプルレッズのお姉さんの活躍待ちです。スタートダッシュに失敗したメイプルレッズですが、林監督以下選手全員挑戦する元気は失っていません。今後の巻き返しに期待してください。http://www.maplereds.net/



男女個人賞レース 第5週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	香川 将之	(トヨタ車体)	40点	(6試合)	1	郭 惠 静	(ソニー)	33点	(4試合)
2	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	39点	(6試合)	1	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	33点	(4試合)
2	神田 友和	(北陸電力)	39点	(6試合)	3	上町 史織	(北国銀行)	30点	(4試合)
4	呉 相 民	(トヨタ紡織九州)	35点	(6試合)	4	金 鎮 順	(メイプルレッズ)	24点	(4試合)
5	下川 真良	(湧永製薬)	34点	(5試合)	5	吉田 祥子	(オムロン)	23点	(4試合)
5	門山 哲也	(トヨタ車体)	34点	(6試合)	6	伏見 麻美子	(バイオレットアイリス)	21点	(4試合)
7	末松 誠	(大同特殊鋼)	33点	(5試合)	7	桂 裕 美子	(バイオレットアイリス)	19点	(4試合)
8	岸川 英誉	(大同特殊鋼)	30点	(5試合)	7	水野 恵子	(オムロン)	19点	(4試合)
8	渡久山 慶一	(豊田合成)	30点	(6試合)	7	菅谷 美奈	(HC名古屋)	19点	(4試合)
10	中村 晃己	(豊田合成)	29点	(6試合)	10	田中 美音子	(ソニー)	18点	(4試合)
11	東 慶 一	(湧永製薬)	28点	(5試合)	10	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	18点	(4試合)
12	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	27点	(6試合)	12	橋本 寛子	(バイオレットアイリス)	17点	(4試合)
13	宮崎 大輔	(大崎電気)	26点	(5試合)	12	大前 典子	(メイプルレッズ)	17点	(4試合)
13	野嶋 智次	(Honda)	26点	(5試合)	12	坂元 智子	(オムロン)	17点	(4試合)
15	桶谷 英則	(豊田合成)	25点	(6試合)	15	東濱 裕子	(オムロン)	16点	(4試合)
15	桜井 涉	(北陸電力)	25点	(6試合)					
15	畠中 益喜	(豊田合成)	25点	(6試合)					

フィールド得点賞

1	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	39点	(6試合)	1	郭 惠 静	(ソニー)	28点	(4試合)
1	神田 友和	(北陸電力)	39点	(6試合)	2	金 鎮 順	(メイプルレッズ)	23点	(4試合)
3	下川 真良	(湧永製薬)	34点	(5試合)	3	水野 恵子	(オムロン)	19点	(4試合)
3	門山 哲也	(トヨタ車体)	34点	(6試合)	3	上町 史織	(北国銀行)	19点	(4試合)
5	呉 相 民	(トヨタ紡織九州)	31点	(6試合)	5	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	18点	(4試合)
6	末松 誠	(大同特殊鋼)	30点	(5試合)	6	大前 典子	(メイプルレッズ)	17点	(4試合)
7	中村 晃己	(豊田合成)	29点	(6試合)	6	坂元 智子	(オムロン)	17点	(4試合)
8	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	27点	(6試合)	6	田中 美音子	(ソニー)	17点	(4試合)
9	岸川 英誉	(大同特殊鋼)	26点	(5試合)	9	菅谷 美奈	(HC名古屋)	16点	(4試合)
9	宮崎 大輔	(大崎電気)	26点	(5試合)	9	東濱 裕子	(オムロン)	16点	(4試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	中村 晃己	(豊田合成)	29点/ 37射	0.784	1	大前 典子	(メイプルレッズ)	17点/ 20射	0.850
2	下川 真良	(湧永製薬)	34点/ 49射	0.694	2	水野 恵子	(オムロン)	19点/ 24射	0.792
3	岸川 英誉	(大同特殊鋼)	26点/ 38射	0.684	3	坂元 智子	(オムロン)	17点/ 29射	0.586
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	27点/ 40射	0.675	4	郭 惠 静	(ソニー)	28点/ 52射	0.538
5	宮崎 大輔	(大崎電気)	26点/ 44射	0.591	5	上町 史織	(北国銀行)	19点/ 37射	0.514

7mスロー得点賞

1	香川 将之	(トヨタ車体)	16点	(6試合)	1	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	18点	(4試合)
2	東 慶 一	(湧永製薬)	8点	(5試合)	2	吉田 祥子	(オムロン)	17点	(4試合)
2	渡久山 慶一	(豊田合成)	8点	(6試合)	3	伏見 麻美子	(バイオレットアイリス)	12点	(4試合)
4	内田 雄士	(大崎電気)	5点	(1試合)	4	上町 史織	(北国銀行)	11点	(4試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	5点	(4試合)	5	東 サヤカ	(ソニー)	8点	(4試合)
4	野嶋 智次	(Honda)	5点	(5試合)					

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	安藤 功規	(北陸電力)	4本/ 6射	0.667	1	飛田 季実子	(ソニー)	5本/ 11射	0.455
2	西田 豊三	(北陸電力)	3本/ 7射	0.429	2	森田 由美	(バイオレットアイリス)	4本/ 10射	0.400
3	濱口 靖	(大崎電気)	5本/ 12射	0.417	3	木澤 尚子	(北国銀行)	4本/ 12射	0.333
4	木下 国大	(トヨタ車体)	6本/ 15射	0.400	4	高森 妙子	(メイプルレッズ)	4本/ 14射	0.286
4	稲本 圭亮	(トヨタ自動車)	4本/ 10射	0.400	4	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	2本/ 7射	0.286

追加登録

HC名古屋 No.17 藤島あみ 1988.07.16生まれ 155cm48kg 右
 延岡東ハンドボールクラブ 延岡中 宮崎学園高 名古屋ウェルネススポーツカレッジ

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

第5週終了 10月28日

順位	男子	大崎電気	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ車体	Honda	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気			33	39		31	36	38		5	5	0	0	10	177	131	46
2	トヨタ紡織九州			29	27		23	28	24	43	6	4	1	1	9	203	162	41
3	大同特殊鋼	29				41	32	36	46		5	4	0	1	8	184	141	43
4	湧永製薬	27	29			31			38	45	5	3	1	1	7	170	133	37
5	トヨタ車体		31	31	28			35	34	37	6	3	0	3	6	196	177	19
6	H o n d a	23	25	25				28		32	5	2	0	3	4	133	140	-7
7	北陸電力	28	23	27		36	21		29		6	2	0	4	4	164	197	-33
8	豊田合成	24	32	25	21	27		27			6	0	0	6	0	156	224	-68
9	トヨタ自動車		22		16	17	24				4	0	0	4	0	79	157	-78

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北国銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25	35	36		31	4	4	0	0	8	127	97	30
2	ソニーセミコンダクタ九州	24		22	34	28	46	4	3	0	1	6	120	89	31
3	北国銀行	27	21		27	31	18	4	2	0	2	4	106	106	0
4	広島メイプルレッズ	34		26		24	33	4	1	1	2	3	117	102	15
5	三重バイオレットアイリス		25	23	24		27	4	1	1	2	3	99	103	-4
6	H C 名古屋	12	18		15	20		4	0	0	4	0	65	137	-72

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。